

令和8年度6月補正予算 参 考 資 料

	頁	(補正予算資料) 頁
「愛知県美術品等共同収蔵庫」の整備を推進します	1	4
自動運転高速バスの社会実装に向けた取組を強化します	2	4
高等学校教育改革を先導するパイロットケースを創出します	3	5
県立高等専門学校の設置に向けた整備を推進します	4	5
新がんセンターの整備を推進します	5	6,7

「愛知県美術品等共同収蔵庫」の整備を推進します

債務負担行為 16,587,855千円

県民文化局文化部文化芸術課
 収蔵庫整備グループ
 内線 5697・5667
 (ダイヤル)052-954-6703

愛知県美術館、愛知県陶磁美術館及び愛知県立芸術大学の各施設が、引き続き美術品等の保存及び収集活動等を継続できる収蔵スペースを確保するため、全国初となる共同収蔵庫の整備を推進します。

○ 事業内容

美術品等共同収蔵庫について、PFI手法により設計・建設及び維持管理・運営を行います。

○ 事業期間

設計・建設期間 : 2027年度～2030年度 (約4年)
 維持管理・運営期間 : 2031年度～2050年度 (20年間)

○ 想定スケジュール

【整備対象施設】

美術品等共同収蔵庫

- ・整備計画地：元愛知県立常滑高校敷地
- ・延べ面積（うち収蔵面積）：8,000㎡程度（5,700㎡程度）

【事業方式】

BTO方式・サービス購入型

	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度～	
公募準備 公募手続き	<ul style="list-style-type: none"> ●7月 実施方針の公表(BTO方式) ●8月 特定事業の選定・公表、入札公告 	<ul style="list-style-type: none"> ●2月 入札、提案書受付 ●3月 落札者の決定及び公表 					
設計・建設 維持管理・運営		<ul style="list-style-type: none"> ●7月 特定事業契約の締結 					

自動運転高速バスの社会実装に向けた取組を強化します

予算額 281,273千円

(既決予算額 711,406千円→補正後 992,679千円)

経済産業局次世代モビリティ産業課
自動車産業グループ
内線 3388・3383
(ダイヤル)052-954-6136

2026年3月に国の自動運転社会実装先行的事業化地域事業^{※1}に選定された中部国際空港と名古屋市中心部を結ぶ高速バスの自動運転化の取組について、高速バスとしては全国初となる2027年度の自動運転レベル4^{※2}の社会実装に向けた取組を強化します。

【2025年度：安定走行技術の確立】

- ・制御精度、フェイルセーフ機構の評価
- ・リスクポイントの整理
- ・想定する運行計画の初期定義

など

【2026年度：レベル4許認可に向けた準備】

- ・レベル4に向けた車両改造
- ・遠隔監視システムの構築・検証
- ・一般試乗の実施による評価
- ・リスクアセスメントの実施

など

【2027年度：レベル4実装に向けた取組】

- ・第三者機関における安全性試験
- ・レベル4許可申請
- ・レベル4実証走行
- ・実装

【実証ルート】

知多半島道路大府PA～中部国際空港



地理院地図を加工して作成

※1：自動運転社会実装先行的事業化地域事業

全国で13地域選定。自動運転の社会実装に向けて、関係府省庁の政策を集中投下し、課題解決に向けた伴走支援を行う事業。

※2：自動運転レベル4

特定の条件下（地域、気象などの条件）において、システムがすべての運転タスクを主体的に行う状態を指す。

高等学校教育改革を先導するパイロットケースを創出します

予算額 6,884,564千円
 (既決予算額 17,646千円→補正後 6,902,210千円)

とりまとめ
 教育委員会高等学校教育課
 振興グループ
 内線 3894・3901
 (ダイヤル)052-954-6826

国の「高校教育に関する基本方針（グランドデザイン）」を踏まえ、県立高等学校4校を改革先導拠点校とし、3類型に応じた先導的な取組を推進します。

高等学校等教育改革推進基金事業費 635,589千円

類型1 アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援

○岡崎工科高等学校

- ・DXに対応した学習内容へ刷新
 - ・次世代エネルギー教育の推進
 - ・産業界伴走型のものづくり教育の実践
- 〈2026年度事業内容〉
 ロボット実習室等の整備設計、インターンシップ受入先の開拓

○安城農林高等学校

- ・次世代農業（スマート農業や6次産業化）に対応した教育の実践
 - ・農業教育共同実習所と連携した生徒実習、教員研修の充実
 - ・農家等と連携した長期インターンシップの導入
- 〈2026年度事業内容〉
 スマート温室・牛舎等の整備設計、インターンシップ受入先の開拓

類型2 理数系人材育成支援

○松蔭高等学校

- ・文理の枠を超えた探究活動の充実
 - ・理系大学等と連携した文理横断型のカリキュラム開発
 - ・文系・理系の割合を同程度にする体制づくり
 - ・大学・スタートアップ企業等と連携したアントレプレナーシップ教育の推進
- 〈2026年度事業内容〉
 実験室等の整備設計、カリキュラム開発体制の構築

類型3 多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

○新城有教館高等学校

- ・教科科目の充実と学習機会の保障を両立する遠隔教育
 - ・地域全体をフィールドに「地域の魅力×自分の関心」を深める探究活動
 - ・放課後や長期休業期間における学習支援
- 〈2026年度事業内容〉
 学習支援施設等の整備設計、遠隔教育体制の構築

新規積立金 [3年分 (2026~2028年度)] 6,200,000千円 基金利子収益積立金 48,975千円

県立高等専門学校の設置に向けた整備を推進します

予算額 17,050千円

(既決予算額 189,464 千円→補正後 206,514 千円)

県民文化局学事振興課
高専設置準備室整備グループ
内 線 3955・3849
(ダイヤル)052-746-9358

時代に即した「高度なものづくり人材」を育成するため、県立高等専門学校の設置に向けた施設の整備を推進します。

県立高等専門学校の教育環境の整備に向け、併設する愛知総合工科高等学校の既存校舎の一部を改修するための実施設計を行います。

○主な改修エリア

愛知総合工科高等学校の既存校舎のうち、東棟1階 約860㎡

○主な改修内容

- ・普通教室、教員室（個室）の整備（OAフロア化含む）
- ・空調、電気・機械設備、電話設備、ネットワーク設備整備



【参考】愛知総合工科高等学校の概要
住 所：名古屋市千種区星が丘山手107
校舎概要：
（構造）鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
（規模）5階建 延べ面積 29,464㎡

<県立高等専門学校の概要>

- 設置・運営主体：愛知県公立大学法人 ○開校時期：未定（文部科学省の認可が必要なため、最短で2029年4月開校）
- 学科、コース：デザイン情報工学科、ロボティクスコース/AI・デジタルコース ○定員規模：1学年1学級40名（5学年で200名）

新がんセンターの整備を推進します

予算額 99,298千円
 (外に債務負担行為 748,522千円)

とりまとめ
 病院事業庁経営課
 新がんセンター整備グループ
 内線 5173・5176
 (ダイヤル)052-746-9248

2034年度末の新がんセンター完成に向けて確実な整備を進めるため、基本設計に着手します。

○ 概要

- ・整備地 名古屋市千種区鹿子殿(現地建替)
- ・病床数 410床 (現状 500床)
 うち緩和ケア病床 20床 (新設)

○ 整備方式

建物	基本設計	実施設計	整備工事
病院棟 (50,200㎡以下)	一括発注	デザインビルド方式	
研究棟 (9,800㎡以下)		デザインビルド方式	
エネルギー施設 (規模未定)		PFI方式を活用	
飲食・売店施設 (規模未定)		PFI方式を活用	

○ スケジュール

年度	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
病院棟		基本設計	実施設計 → 整備						
研究棟			実施設計 → 整備						
エネルギー施設			実施設計 → 整備						
飲食・売店施設			実施設計 → 整備						
発注者支援業務委託 土木調査	発注者支援業務委託 土木調査								

【関連事業】(保健医療局)
 ○ 新がんセンター整備推進費 Δ81,501千円
 ・整備方式の決定に伴うPFIアドバイザー業務等の
 内容・期間の変更による減額